

# 水資源機構 令和元年度・第2回入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和2年1月27日(月) 機構本社会議室		
委員	角田 茂(学校法人参事) 栗田 誠(大学教授) 篠原焜夫(弁護士) 中村好男(大学名誉教授) 清水義彦(大学院教授)		
審査対象期間	平成31年4月1日～令和元年9月30日		
抽出案件	総件数	6 件	(備考)
工事	一般競争入札	2 件	
	公募型指名競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	1 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサールタシ	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	1 件	
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0 件	
	標準プロポーザル	0 件	
	一般競争入札	1 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約(競争性のある)	0 件	
	随意契約(特命随意契約)	0 件	
	補償契約	1 件	

## 1. 委員からの意見・質問、それに対する回答等

### (1) 一般競争入札(工事)

#### 【南摩ダムダムサイト敷地造成工事】

意見・質問	回答
・低入札調査で通常の調査と重点調査との違いはあるのか。	・通常の低入札調査は、18項目の内容について資料を提出していただきますが、重点調査の場合は、24項目の内容について資料を提出していただくこととなります。
・最高評価者が低入札調査を辞退した理由は何か。	・調査項目が増えるということや、資料の提出期間が通知を受けて3日以内となっていますので、そのあたりを考慮して辞退されたと思われます。
・落札者の技術点が低い特段の理由はあるのか。	・評価項目として、企業の技術力と技術提案があります。企業の技術力は、施工実績や成績、配置予定技術者の経験などで決まりますので、実績が少なかったとか、そういう者を配置予定技術者としたとか、表彰の有無といったことが、点数の差となった要因と思われます。

### (2) 一般競争入札(工事)

#### 【東郷発電所水力発電設備工事】

意見・質問	回答
・競争参加資格の通知期限の前に入札書の提出期限が設定されているが、入札参加資格があることを確認した上で入札書を提出するのではないのか。	・本工事は、簡易型の総合評価落札方式となっており、簡易型では参加資格確認申請書と入札書を同時に提出することとなっています。

<p>・企業の施工能力のうち、表彰実績はなしで0点となっているが、資料 7-12 を見ると、理事長表彰ありとなって3点が加点されているのはなぜか。</p>	<p>・企業の表彰には、安全管理優良工事表彰と優良工事表彰の2つの表彰があり、安全管理優良工事表彰は受けていなかったが、優良工事表彰については理事長表彰を受けていたため3点加点されています。</p>
<p>・1者応札となっているが、なぜ他の者は参加しないのか。また、落札率がほぼ100%に近い理由を説明して欲しい。</p>	<p>・今回の入札に当たっての資料請求は2者でしたが、1者は工事内容から施工不可と判断されて入札には参加いただけませんでした。本工事は、水車の分解整備を行うものですが、整備後において予期せぬトラブル発生リスクを懸念して、敬遠されているものと思われます。なお、過去の入札においても施工会社のグループ会社以外の者も参加した実績があります。結果として今回は1者応札になったものと思われます。また、落札率が高い理由として、予定価格の作成に当たっては、価格調査を第三者に発注していますが、調査会社は工事を施工できる者からの価格を採用したためと思われます。</p>

**(3) 指名競争入札 (工事)**

**【山口調整池法面等復旧工事】**

意見・質問	回答
<p>・辞退者が多いが、あまり利益がでない工事なのか。</p>	<p>・この地域は、平成29年、30年と連続して大規模な豪雨が発生しており、近隣地域でも同様な復旧工事が多くあったことから、人手が不足しているものと思われます。</p>
<p>・指名業者の選定理由において、半径25キロ以内の市町に本店、支店又は営業所を有するとしているが、これは半径25キロ以内に本店、支店又は営業所を有するという意味なのか。</p>	<p>・25キロの範囲内に市役所や町役場がある市町において、本店、支店又は営業所を有しているということです。</p>
<p>・法面の復旧は、水の中でやらなければならないのか。</p>	<p>・調整池よりも上のところで施工しています。</p>
<p>・道路の斜面崩壊とは違い、池の法面の滑落は施工がやりにくく、経験がないと安全管理の問題もあり大変そうな気がするのだが、そういう現場の特殊性で辞退者が多かったということではないのか。</p>	<p>・個別に聞き取りは行っていませんが、図面などを交付していますので、ある程度そういう事情は承知の上だと思います。</p>

**(4) 簡易公募型プロポーザル (建設コンサルタント等)**

**【木津川ダム群ダム運用方法検討業務】**

意見・質問	回答
<p>・発注方式の選定にある氾濫解析①と氾濫解析②の違いは何か。</p>	<p>・氾濫解析①はモデルがないようなところで最初からモデルを構築しなければならないもの、氾濫解析②はモデルがあるものです。</p>

<p>・ 予定価格の決定・見積において、技術提案書の特定者の歩掛・単価に基づき算出とあるが、歩掛・単価はいつの時点で機構にわかるのか。また、予定価格の作成に当たっては平成31年度技術者単価を適用するとなっており、この技術者単価を使って特定者は見積りを提出していると思うが、どのように予定価格は設定されるのか。</p>	<p>・ 業務にどの程度の費用を要するかを把握するために、技術提案書を提出する際に参考見積書を作成して添付することになっています。また、技術者単価は平成31年度の単価を使用して積算します。</p>
<p>・ 木津川のダムでは、今までも下流にとって、いい治水のダム運用操作をしていたと思うが、そのときは下流の浸水想定区域図はなかったのか。</p>	<p>・ 当然つくるものですが、河道は洪水が何回も起こると変わって来ます。石がたまってしまったために流れにくくなっているところもありますし、逆に流れやすくなっているようなところもあります。昔作成したものについては、時間が経てば更新しないといけないということです。</p>

**(5) 一般競争入札（建設コンサルタント等） 【川上ダム本体周辺施設等補足設計業務】**

意見・質問	回答
<p>・ 総合評価の価格点について上限値を設定している理由は何か。</p>	<p>・ 低入札対策の観点から上限値を設定しています。今までの価格点は、計算上0円だと満点がとれることになっていますので、低入札を助長させないという意図で上限値を設けました。</p>

**(5) 補償契約 【土地等の売買に関する契約書（木曾川右岸緊急改築事業）】**

意見・質問	回答
<p>・ 購入部分は車が通行しているのか。</p>	<p>・ 元々は市道でしたが、現在、工事をしていまして、向かって右側に仮回しの道路を一時的に設置させていただいています。用地買収は、この部分を先行して行いましたが、分土工の工事自体は来年度実施予定になってますので、その間、工事の仮回しの道路ということで活用させていただいています。</p>
<p>・ 道路ではないということか。</p>	<p>・ 道路ではありません。持ち主の方の、事業をされており、事業用の車両を置いたり、コンテナを置いたりしています。</p>
<p>・ 補償単価の時点修正というのは、これは少しでも変動があればやるわけなのか。</p>	<p>・ 価格、時点修正は、変動があれば必ず行うようにしています。</p>

**2. 委員会による意見の具申又は勧告**  
なし

**3. 問い合わせ先**

埼玉県さいたま市中央区新都心1-1番地2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

技術管理室契約企画課長	宮前	武利	(内線	2251)
技術管理室技術調査課長	松尾	誠	(内線	4631)
用地管財部用地補償課長	松本	徳幸	(内線	2321)